



進路だより



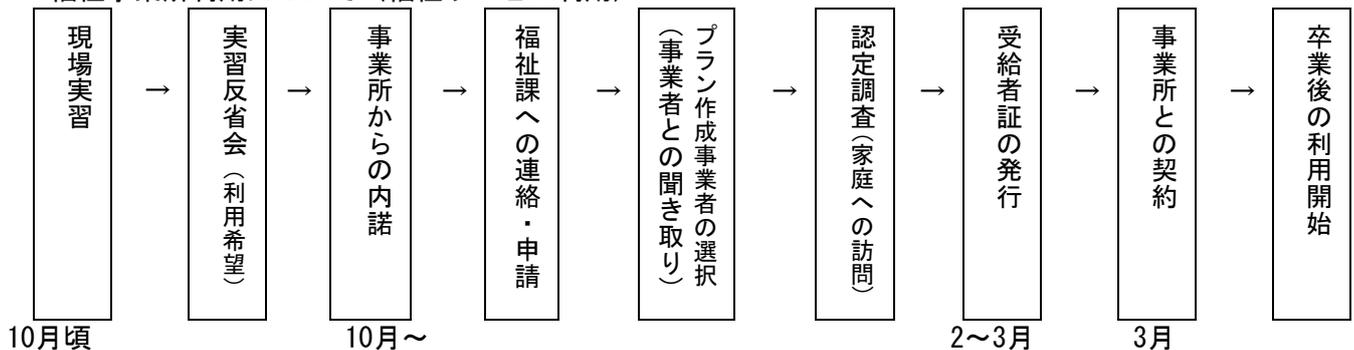
平成26年12月発行 第4号
栃木県立足利中央特別支援学校 進路指導部

卒業後の進路への手続きと流れ

高等部で現場実習をしてから、卒業後の進路先が決定するまで、どんな流れになるのか？今回は、本校における進路決定の流れについて紹介します。進路決定までにはどのような手続きがあるのかご承知おきいただければと思います。

基本的には“申請”と“契約”の手続きを要しますが、申請や契約という言葉はこれまでの学校教育段階ではなじみのないことかもしれません。現行の福祉制度や障害者枠での就職においては、いろいろな手続きを保護者の皆様にしていただくこととなります。お子様の進路を決定していくには、保護者の方の協力が必須となりますので、引き続き学校教育への御理解と御協力をお願いいたします。

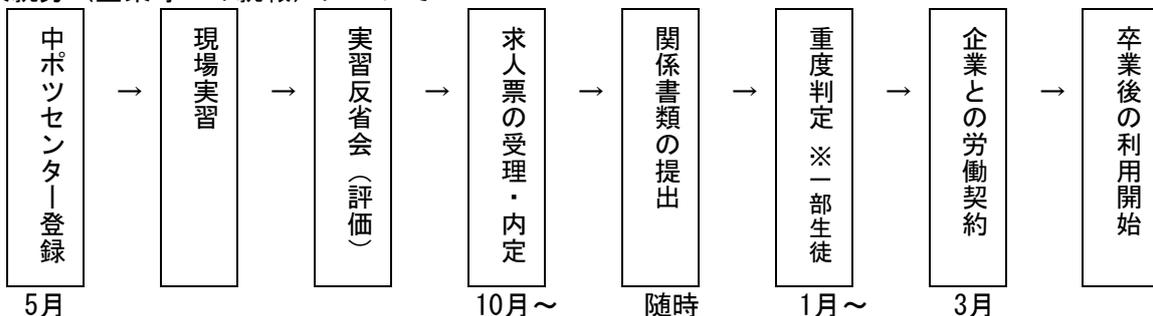
1 福祉事業所利用について（福祉サービス利用）



※プラン作成とは「サービス等利用計画」の作成のことです。H24より新卒の生徒に対しても行われるようになりました。

※短期入所等の福祉サービスを利用している生徒は、18歳になる前に認定調査等の手続きは済ませることになります。また、認定調査は、学校で実施することもあります。

2 一般就労（企業等への就職）について



※中ポツセンターとは両毛圏域障害者就業・生活支援センターのことです。安足健康福祉センター内にある両毛地区の障害者への支援を行う関係機関になります。就職者、就労移行支援事業利用者は全員登録します。

※重度判定とは一部生徒のみ宇都宮の栃木障害者職業センターにて面談等行うものです。知的障害者の雇用政策上行うもので、雇用企業側には助成金の優遇措置などがとられます。重度という表現をしますが療育手帳の区分等とは関係なく、あくまで雇用政策上の言葉であり、社会的に重度ということではありません。

佐野地区保護者施設見学会

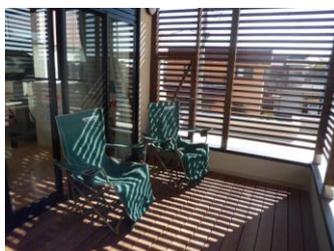
10月27日、この5月10日に佐野市石塚町にオープンした、障がい福祉サービス事業所「はなことば」を見学してきました。

ここは就労継続支援B型事業所で、おもな作業はフラワーアレンジメント、英字新聞紙やプチプチを使った袋作り、ぽち袋や雑誌付録の袋詰めなどです。この日は高等部3年生のK君が少年雑誌の付録の袋詰めをしていましたが、利用者さんもみな笑顔で、和気あいあいとした雰囲気の中で作業をしていました。

佐野日大高校の西、農協との間に位置しています。関心のある方は、訪ねてみるとよいかもかもしれません。



足利地区保護者施設見学会



10月29日は、葉鹿町にこの6月にオープンしたコミュニティセンターよこまち水車を見学してきました。

生活介護と就労継続支援B型、相談センターを備える施設です。1階がカフェよこまち、2階に生活介護の設備があります。2階の浴室は、生活介護の方も就労移行支援の方も希望で利用できるのだそうです。

この建物、なんとグッドデザイン受賞したとのこと。なるほど。

開店前のカフェでは、コーヒー豆の選別をしていました。就労継続支援B型の方は、カフェの他、渡良瀬会の緑が丘育成園、かしわ荘、栃の葉荘で、洗濯たみ、畑作業、コンクリート製造の作業をしているそうです。

ランチは日替わり数量限定で、パスタ、ドリンク、クッキー付き880円でした。一度、ランチかたがたのぞいてみてはいかがでしょうか。

中学部就業体験

12月8日(月)～12日(金)の日程で中学部3年生が就業体験を行いました。体験先は、社会福祉法人足利むつみ会の社会就労センターきたざととディアクティビティセンターWIN、オートアールズ足利弥生店の3カ所です。

きたざとでは、ちらし折り、クッキーの箱詰め、ウレタンの袋詰めなどを体験しました。WINでは、余暇活動を体験してきました。ボールプールやポーロリングなど、五感を生かした活動を体験してきました。また、オートアールズ弥生店では、商品の前出しや清掃などを行いました。学校の以外の場所で施設の方や従業員の方々と一緒に作業をすることで、緊張感がありよい体験となりました。

